

1.	④	11.	③	21.	③	31.	④	41.	③
2.	①	12.	①	22.	①	32.	③	42.	①
3.	③	13.	②	23.	④	33.	②	43.	①
4.	③	14.	①	24.	③	34.	③	44.	①
5.	③	15.	①	25.	③	35.	③	45.	②
6.	①	16.	①	26.	③	36.	②	46.	①
7.	②	17.	②	27.	②	37.	②	47.	①
8.	③	18.	④	28.	②	38.	②	48.	④
9.	③	19.	②	29.	④	39.	②	49.	④
10.	③	20.	②	30.	④	40.	②	50.	④

1.

解答 ④

【解説】

「(個人の) 習慣」という意味に最も近い英単語は④の **habit** です。個人が無意識のうちに、あるいは定期的に行う行動パターンを指します。例えば、「早起きの習慣」は **the habit of getting up early** と表現できます。他の選択肢について、① **hobby** は楽しみのために行う「趣味」です。② **custom** は、特定の社会や文化、地域に根付いた「慣習、風習」を指し、個人的なものというより集団的なものです。③ **manner** は「行儀、作法」や「方法、やり方」を意味し、複数形の **manners** は特に「礼儀作法」を指します。

◆補足: **habit** は、“**get into the habit of doing**” (～する習慣がつく)、“**be in the habit of doing**” (～する習慣がある)、“**break a bad habit**” (悪い習慣を断つ) といった形でよく使われます。類義語の **custom** との使い分けが重要で、**habit** は個人に、**custom** は社会や集団に属する習慣を指します。例えば、毎日ジョギングをするのは **habit** ですが、お正月に初詣に行くのは日本の **custom** です。動詞形は **habituate** で、「～を慣れさせる」という意味になります。

2.

解答 ①

【解説】

「(人と) 交流する、付き合う」という意味に最も近い英単語は①の **socialize** です。パーティーや集まりなどで、他の人々と会話をしたりして楽しむことを指します。例えば、「私は新しい人々と交流するのが好きだ」のように使います。他の選択肢について、② **specialize** は「～を専門にする」、③ **summarize** は「～を要約する」、④ **sympathize** は「同情する、共感する」という意味の動詞です。

◆補足：socialize は、形容詞 social（社会的な、社交的な）に、動詞化する接尾辞 -ize が付いた形です。このことから、「社会的な活動をする」→「人と交流する」という意味が理解できます。関連語として、society（社会）や socialism（社会主義）などがあります。

3.

解答 ③

【解説】

英単語「patient」は、形容詞として使われる場合、「忍耐強い、我慢強い」という意味になります。困難や遅延に対して、不平を言わずに落ち着いていられる様子を表します。例えば、「彼は子供たちに対してとても忍耐強い」のように使います。選択肢①「親しい」は close や familiar、②「現在の」は present や current、④「個人の」は private や personal が対応する単語です。

◆補足：patient は名詞としては「患者」という意味で、こちらも非常に重要な意味です。形容詞と名詞で全く意味が異なるので、文脈で判断する必要があります。語源はラテン語の patiens（苦しむ、耐える）で、「耐える」という核のイメージが「忍耐強い」や「(病気に耐える人→) 患者」という意味につながっています。名詞形は patience（忍耐、我慢）です。

4.

解答 ③

【解説】

英単語「fat」は、形容詞の「太った」という意味でよく知られていますが、名詞として使われる場合は「脂肪」を意味します。エネルギーを蓄え、体を保温する役割を持つ物質を指します。例えば、「飽和脂肪」は saturated fat と表現します。選択肢①「運命」は fate、②「足跡、偉業」は feat、④「事実」は fact であり、意味が異なります。

◆補足：名詞の fat は不可算名詞として扱われます。形容詞の fat との区別が重要です。コロケーションとしては、body fat（体脂肪）、low-fat（低脂肪）、animal fat（動物性脂肪）などがあります。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③「運動」です。exercise は、健康や体力を維持・向上させるために行う「運動、体操」を意味する不可算名詞です。例文は「定期的な運動は健康に良い」となります。①「練習問題」や②「(権利などの) 行使」も exercise の重要な意味ですが、この文脈には合いません。④「遠足」は excursion や field trip です。

◆補足：exercise は動詞としても「運動する」という意味で使われます。do exercise または take exercise で「運動する」という表現になります。

6.

解答 ①

【解説】

英単語「**flavor**」は、食べ物や飲み物の「風味、味と香りを合わせたもの」を指す名詞です。例えば、「このアイスクリームには3つの風味があります」のように使います。また、比喩的に「趣、特色」といった意味で使われることもあります。選択肢②「熱」は **fever**、③「好意、親切な行為」は **favor**、④「繊維」は **fiber** であり、スペルや発音が似ているため混同しないように注意が必要です。

◆**補足**：**flavor** と **taste** はどちらも「味」と訳せますが、ニュアンスに違いがあります。**taste** が主に舌で感じる「味覚」を指すのに対し、**flavor** は味覚に加えて嗅覚（香り）も含む、より総合的な「風味」を表します。例えば、鼻をつまんで食べると **flavor** は分かりにくくなりますが、甘い、しょっぱいといった **taste** は分かります。動詞としては「～に風味を添える」という意味で使われます。

7.

解答 ②

【解説】

英単語「**colleague**」は、「同僚」という意味の名詞です。特に、同じ専門職や職場で働く人を指します。例えば、「彼は私の元同僚です」は **He is a former colleague of mine.** と表現します。選択肢①「大学」は **college** で、スペルと発音が似ているため注意が必要です。③「収集」は **collection**、④「顧客」は **client** や **customer** です。

◆**補足**：類義語の **co-worker** も「同僚」を意味しますが、**colleague** の方がより専門的で、互いを尊重し合うような職場の仲間というニュアンスが強い傾向があります。語源はラテン語の **com-**（共に）+ **legare**（選ぶ、派遣する）で、元々は「共に任務に派遣された人」を意味していました。

8.

解答 ③

【解説】

「光景、名所」という意味に最も近い英単語は③の **sight** です。目に見えるものや、その場の様子を指します。複数形の **sights** は、観光地の「名所、見どころ」という意味で頻繁に使われます。例えば、「街の名所を見て回る」は **go sightseeing** と表現します。他の選択肢について、① **site** は「用地、現場、ウェブサイト」を意味する同音異義語で、注意が必要です。② **light** は「光」、④ **might** は助動詞で「～かもしれない」または名詞で「力」を意味します。

◆**補足**：**sight** には「視力、視覚」という意味もあります（例：**poor eyesight** 視力が悪い）。重要な熟語として、**catch sight of** ～（～を見かける）、**at first sight**（一目で）、**lose sight of** ～（～を見失う）などがあります。

9.

解答 ③

【解説】

「(特定の治療のための) 薬、薬剤」という意味に最も近い英単語は③の **medication** です。医師の処方する薬や、ある病気の治療に用いられる薬全般を指します。例えば、「薬を服用する」は **take medication** と表現します。他の選択肢について、① **meditation** は「瞑想、黙想」、② **dedication** は「献身、専念」、④ **indication** は「兆候、しるし」という意味の名詞です。

◆**補足**：**medication** は、特に医師によって処方される「治療薬」というニュアンスが強いです。一般的な「薬」を指す **medicine** や、薬局で買える市販薬なども含む **drug** との使い分けが重要です。**take medication on a regular basis** (定期的に薬を服用する) や **be on medication** (投薬治療中である) といった表現もよく使われます。

10.

解答 ③

【解説】

英単語「**dramatic**」は、「劇的な、めざましい」という意味の形容詞です。変化や出来事が突然で非常に大きく、人々を驚かせるような様子を表します。例えば、「株価の劇的な下落」は **a dramatic fall in stock prices** と表現します。選択肢①「自動的な」は **automatic**、②「退屈な」は **boring** や **drab**、④「国内の」は **domestic** です。

◆**補足**：**dramatic** は、名詞の **drama** (劇) から派生した言葉で、文字通り「演劇のような」というニュアンスを持ちます。**a dramatic change** (劇的な変化) や **a dramatic improvement** (めざましい改善) のように、変化の大きさを強調する際によく使われる単語です。副詞形は **dramatically** (劇的に) です。

11.

解答 ③

【解説】

「～する傾向がある、～しがちである」という意味に最も近い英語表現は③の **tend to do** です。特定の行動や状態に自然と向かう性質があることを示します。例えば、「物価は上昇する傾向にある」は **Prices tend to rise.** と表現します。他の選択肢について、① **pretend to do** は「～するふりをする」、② **fail to do** は「～できない、～しそこなう」、④ **hesitate to do** は「～するのをためらう」という意味の表現です。

◆**補足**：名詞形は **tendency** (傾向) で、**have a tendency to do** (～する傾向がある) という形で **tend to do** とほぼ同じ意味を表します。**tend** は動詞として「～の世話をする」(**tend to a patient**) や

「～を管理する」(tend a garden) といった意味も持ちますが、tend to do の形とは意味が異なるので注意が必要です。語源はラテン語の tendere (伸ばす、向かう) で、「特定の方向へ伸びていく」というイメージが「傾向」につながっています。

12.

解答 ①

【解説】

英語表現「by no means」は、「決して～ない」という意味の強い否定を表す副詞句です。never や not at all よりもフォーマルで強調的な響きがあります。例えば、「その仕事は決して簡単ではなかった」は The task was by no means easy. と表現します。選択肢②「あらゆる手段で、ぜひとも」は by all means で、by no means の対義語となります。③「ところで」は by the way、④「偶然に」は by chance という意味の熟語です。

◆補足：by no means は倒置を引き起こすことがあります。文頭に置かれると、その後ろは「助動詞（または be 動詞）＋主語＋動詞の原形」という疑問文の語順になります。例えば、"By no means should you give up."（決してあきらめてはいけない）のようになります。同じく強い否定を表す表現には、in no way や on no account などがあり、これらも文頭で倒置を引き起こします。

13.

解答 ②

【解説】

「治療法」という意味に最も近い英単語は②の cure です。病気を完全になくすることができる薬や医療方法を指します。例えば、「がんの新しい治療法」は a new cure for cancer と表現します。他の選択肢について、①care は「世話、注意」、③cause は「原因」、④course は「進路、課程」という意味の名詞です。

◆補足：cure は動詞として「～を治療する、治す」という意味でも使われます。類義語の treat は病気に対して「処置を施す」というプロセスに焦点を当てるのに対し、cure は病気を「完治させる」という結果に焦点を当てます。このため、"Prevention is better than cure."（予防は治療に勝る）ということわざが成り立ちます。

14.

解答 ①

【解説】

英熟語「put together ～」は「～を組み立てる、～をまとめる」という意味です。部品や情報などを一つに合わせて全体を作り上げるイメージを持つと覚えやすいでしょう。例えば、家具を組み立てたり、報告書をまとめたりする際に使われます。選択肢②「～に耐える」は put up with ～、③「～を

延期する」は **put off** ～、④「～を片付ける」は **put away** ～ という別の熟語です。**put** を使った熟語は非常に多く、混同しやすいため、それぞれの前置詞や副詞が持つ核となる意味とセットで覚えることが重要です。

◆補足：「**put together** ～」は、物理的なものを「組み立てる」場合（例：put together a model airplane）だけでなく、情報やアイデアなどを「まとめる、編成する」場合（例：put together a report/team）にも広く使われます。類義語として **assemble** がありますが、**assemble** はより専門的・技術的な組み立てのニュアンスが強いです。一方、**put together** はより日常的で広範な状況で使えます。語源的に見ると、**put**（置く）と **together**（一緒に）が組み合わさって「一緒に置く」ことから「組み立てる、まとめる」という意味になる、と直感的に理解できる表現です。

15.

解答 ①

【解説】

英単語「**period**」は、「期間」という意味で最も一般的に使われます。ある特定の時間の長さを指します。また、歴史上の「時代」や、授業の「時限」といった意味でも使われます。例えば、「一定の期間」は **a certain period of time** と表現します。選択肢②「点」は **point**、③「優先事項」は **priority**、④「方法、手順」は **procedure** であり、意味が異なります。

◆補足：**period** は文の終わりにつける「終止符（ピリオド）」という意味もあります。このことから、会話で“**Period.**”と言うと、「これで話は終わりだ、以上」という強い断定を表す口語表現になります。形容詞形は **periodic**（周期的な）です。

16.

解答 ①

【解説】

「～を導入する」という意味に最も近い英単語は①の **introduce** です。新しい制度や技術、製品などを初めて持ち込んだり、使い始めたりすることを指します。例えば、「政府は新しい税制を導入した」のように使います。他の選択肢について、② **reduce** は「～を減らす」、③ **produce** は「～を生産する」、④ **deduce** は「～を推論する」という意味で、いずれも語尾が似ていますが意味は全く異なります。

◆補足：**introduce** には「～を紹介する」という意味もあり、こちらも非常に重要です。人を紹介する場合（**introduce A to B**）も、物事を紹介する場合（**introduce a new product**）もあります。語源はラテン語の **intro-**（中へ）＋**ducere**（導く）で、「中へ導き入れる」というのが核となるイメージです。これが「紹介する」「導入する」という意味に発展しました。名詞形は **introduction**（紹介、導入）です。

17.

解答 ②

【解説】

英単語「present」は、動詞として使われる場合、「～を贈る、贈呈する」や「～を提示する、発表する」といった意味を持ちます。この問題では選択肢②「～を贈る」が最も適切です。例えば、「誕生日に彼に時計を贈った」のように使います。選択肢①「～を防ぐ」は prevent、③「～を表す、代表する」は represent、④「～を予測する」は predict が対応する単語です。

◆補足：present は多義語であり、品詞やアクセントの位置によって意味が変わるため注意が必要です。動詞 /prɪ'zent/（プリゼント）では「贈る、提示する」、名詞 /'preznt/（プレゼント）では「贈り物、現在」、形容詞 /'preznt/（プレゼント）では「現在の、出席して」となります。名詞形 presentation（発表、プレゼンテーション）もビジネスや学術の場面で頻出する重要単語です。

18.

解答 ④

【解説】

「～するのを控える、慎む」という意味に最も近い英語表現は④の refrain from doing です。やりたい気持ちを抑えて、意図的にある行動をしないことを表す、ややフォーマルな表現です。例えば、「コメントは控えてください」は Please refrain from commenting. と表現します。他の選択肢について、① result from doing は「～することから結果として生じる」、② benefit from doing は「～することから利益を得る」、③ suffer from doing は「～することで苦しむ」という意味です。

◆補足：類義語の avoid doing は「～するのを（意識的に）避ける」、stop doing は「～するのをやめる」という意味で、ニュアンスが異なります。refrain from ～ は、公共の場での注意書きなどでよく見られます（例: Please refrain from smoking. 「喫煙はご遠慮ください」）。名詞の refrain は、詩や歌の「繰り返し部分、リフレイン」という意味になります。

19.

解答 ②

【解説】

英単語「key」は、名詞の「鍵」という意味でよく知られていますが、形容詞として使われると「重要な、鍵となる」という意味になります。問題解決や成功に不可欠な要素を指す際に使われます。例えば、「成功への鍵となる要因」は a key factor for success と表現します。選択肢①「自由な」は free、③「親切的な」は kind、④「安全な」は safe が対応する単語であり、意味が異なります。

◆補足：形容詞の key は、important や crucial、vital といった類義語の中でも、比喩的に「鍵のように物事を開く、解決する」というニュアンスを持つのが特徴です。そのため、key element（主要素）、key player（中心選手）、key issue（主要な問題点）のように、中心的な役割を果たす名詞を修飾することが多いです。この比喩的な意味を理解すると、読解での応用力が向上します。

20.

解答 ②

【解説】

「B だけでなく A も」という意味に最も近い英語表現は②の **A as well as B** です。この表現が主語になる場合、動詞は A の人称と数に一致するという重要なルールがあります。これは、強調したい A の方に文法的な重きが置かれるためです。他の選択肢について、① **A instead of B** は「B の代わりに A」、③ **A rather than B** は「B よりもむしろ A」、④ **neither A nor B** は「A も B も～ない」という意味の表現です。

◆補足：**A as well as B** は、**not only B but also A** とほぼ同じ意味ですが、**as well as** の方がややフォーマルな響きがあります。また、**A as well as B** では強調の重点が A に置かれるのに対し、**not only B but also A** では A と B の両方が同程度に強調されるか、文脈によっては A がより強調されます。この微妙なニュアンスの違いを理解しておくと、より正確な英語表現が可能になります。

21.

解答 ③

【解説】

英単語「sticky」は、「ねばねばする、べたつく」という意味の形容詞です。蜂蜜や接着剤のように、物に付きやすい性質を表します。例えば、「床がべたつく」は **The floor is sticky.** と表現します。選択肢①「厳格な」は **strict**、②「臭い」は **stinky**、④「石の多い」は **stony** が対応する単語です。

◆補足：**sticky** は、動詞 **stick**（くっつく、固執する）から派生した形容詞です。物理的な粘着性だけでなく、比喩的に「(状況などが) 厄介な、難しい」という意味や、「(天気が) 蒸し暑い」という意味でも使われます（例: **a sticky situation** 「厄介な状況」）。

22.

解答 ①

【解説】

「地帯、区域」という意味に最も近い英単語は①の **zone** です。ある特定の特徴や目的のために区切られた範囲を指します。例えば、「この地域は商業地域です」は **This area is a commercial zone.** と表現します。他の選択肢は発音が似ていますが、② **tone** は「音色、口調」、③ **stone** は「石」、④ **bone** は「骨」を意味します。

◆補足：**zone** は、「**time zone**」（時間帯）、「**comfort zone**」（快適な領域、慣れた環境）、「**danger zone**」（危険地帯）など、様々な単語と結びついて使われます。また、動詞として「～を区域分けする」という意味もあります。

23.

解答 ④

【解説】

「(アンケートなどの) 調査」という意味に最も近い英単語は④の **survey** です。多くの人から質問を通じて情報を集め、意見や傾向を調べることを指します。例えば、「アンケート調査を行う」は **conduct a survey** と言います。他の選択肢について、① **surface** は「表面」、② **summary** は「要約」、③ **subway** は「地下鉄」を意味する名詞です。

◆**補足**：**survey** は動詞としても使われ、その場合は「～を調査する」や「～を概観する」という意味になります。アクセントの位置が名詞と動詞で異なることに注意が必要です。名詞の場合は /'sʌ:rvɪ/ (サーヴェイ) と前に、動詞の場合は /sə'rveɪ/ (サヴェイ) と後ろにアクセントが置かれます。語源は古フランス語の **surveoir** (上から見る) で、これが「全体を見渡す」→「調査する」という意味につながっています。

24.

解答 ③

【解説】

「栄養素、栄養分」という意味に最も近い英単語は③の **nutrient** です。生物が成長し、健康を維持するために必要とする物質を指します。例えば、「この野菜には多くの栄養素が含まれている」のように使います。他の選択肢について、① **ingredient** は料理の「材料、成分」を指す言葉です。② **creature** は「生き物、動物」を意味します。④ **moisture** は「水分、湿気」を指します。

◆**補足**：**nutrient** は、関連語である **nutrition** (栄養、栄養摂取) と混同しないように注意が必要です。**nutrient** はタンパク質やビタミンといった個々の「栄養素」を指すのに対し、**nutrition** は栄養を摂取するという行為やプロセス全体、あるいは栄養学という学問分野を指す、より広い概念です。どちらもラテン語の **nutrire** (養う、栄養を与える) に由来しています。**Essential nutrients** (必須栄養素) といった表現もよく使われます。

25.

解答 ③

【解説】

「リズム、律動」という意味に最も近い英単語は③の **rhythm** です。音楽や詩などにおける、音や動きの規則的な繰り返しのパターンを指します。例えば、「音楽に合わせてリズムをとる」のように使います。他の選択肢について、① **algorithm** は数学やコンピュータ科学における「算法、アルゴリズム」、② **logarithm** は数学の「対数」を意味します。④ **symbol** は「象徴、記号」という意味の名詞です。

◆**補足**：**rhythm** は母音を含まない珍しい英単語の一つとして知られています (y を半母音と見なす)。形容詞形は **rhythmic** または **rhythmical** (リズムカルな、律動的な) です。コロケーションと

しては、"a sense of rhythm"（リズム感）、"biological rhythm"（生体リズム）、"the rhythm of the seasons"（季節の移り変わり）など、音楽以外の文脈でも広く使われます。

26.

解答 ③

【解説】

英単語「chat」は、名詞として「雑談、おしゃべり」という意味で使われます。友人などと交わす、気楽でたわいない会話を指します。例えば、「友達と少しおしゃべりをした」は **I had a little chat with my friend.** と表現します。動詞としても「おしゃべりする」という意味で使われます。選択肢①「冗談」は **joke**、②「挑戦」は **challenge**、④「図表」は **chart** です。

◆補足：chat は、より一般的な「会話」を意味する **conversation** よりも、非公式で親しい間柄でのやりとりというニュアンスが強いです。近年では、インターネット上のテキストによるやりとり（チャット）を指す言葉としても広く定着しています。

27.

解答 ②

【解説】

「日常の食事、食生活」という意味に最も近い英単語は②の **diet** です。日本語の「ダイエット」は主に「減量」を指しますが、英語の **diet** はより広く、健康や習慣としての「食事」そのものを指します。例えば、「バランスの取れた食事」は **a balanced diet** と言います。他の選択肢について、① **recipe** は「調理法、レシピ」、③ **appetite** は「食欲」、④ **dessert** は「デザート」を意味します。

◆補足：もちろん、**diet** には「減量のための食事制限」という意味もあります。この意味で使う場合は **"go on a diet"**（ダイエットを始める）や **"be on a diet"**（ダイエット中である）といった表現がよく使われます。また、日本の「国会」は **the National Diet** と呼ばれますが、これは「（議会のために）集まる日」を意味するラテン語に由来しており、食事の **diet** とは語源が異なります。

28.

解答 ②

【解説】

「～に言及する、～について軽く述べる」という意味に最も近い英単語は②の **mention** です。話題を詳しく説明するのではなく、手短に触れるというニュアンスで使われます。例えば、「彼は会議でその問題に言及した」のように使います。他の選択肢について、① **imagine** は「～を想像する」、③ **measure** は「～を測る、測定する」、④ **maintain** は「～を維持する、主張する」という意味の動詞です。

◆補足：mention は他動詞ですが、“mention about ～”のように about を付けないよう注意が必要です。名詞としても「言及、陳述」という意味で使われます。“Don’t mention it.”は「どういたしまして」という意味の丁寧な返答としてよく使われる口語表現です。また、“not to mention ～”は「～は言うまでもなく」という意味の重要な熟語で、すでによく知られている事実を付け加える際に用います。

29.

解答 ④

【解説】

英単語「challenging」は、「やりがいのある、困難だが興味をそそる」という意味の形容詞です。単に「難しい (difficult)」というだけでなく、努力して乗り越える価値があるという、前向きなニュアンスを含みます。例えば、「それはやりがいのある仕事だった」は It was a challenging job. と表現します。選択肢①「退屈な」は boring、②「がっかりさせる」は disappointing、③「魅力的な」は charming や attractive などが対応します。

◆補足：challenging は、動詞 challenge (～に挑戦する、異議を唱える) の現在分詞が形容詞化したものです。名詞の challenge も「挑戦、難題」という意味でよく使われます。difficult が客観的な困難さを示すのに対し、challenging は主観的に「挑戦心をかき立てられる」という気持ちが含まれることが多いです。このニュアンスの違いを理解しておくと、より豊かな表現が可能になります。

30.

解答 ④

【解説】

「少なくとも」という意味に最も近い英語表現は④の at least です。最低限の数量や程度を示し、「少なく見積もっても」というニュアンスで使われます。例えば、「少なくとも週に一度は運動すべきだ」のように用います。他の選択肢は、① at most は「せいぜい、多くても」で at least の対義語です。② at last は「ついに、やっと」という意味で、長い間待った後に何かが起こったことを示します。③ at once は「すぐに、ただちに」という意味です。

◆補足：at least は数量だけでなく、「せめて～だけでも」という、好ましくない状況の中で唯一の良い点を挙げる際にも使われます。例えば、“The trip was expensive, but at least we had a good time.” (旅行は高かったが、せめて楽しい時間を過ごせた) のように、譲歩のニュアンスで文頭や文末、文中に置かれます。この用法も非常に重要なので覚えておきましょう。

31.

解答 ④

【解説】

「～へ向かう」という意味に最も近い英語表現は④の **head for** です。特定の場所や方向へ進んで行くことを表します。例えば、「私たちは駅へ向かった」は **We headed for the station.** と表現します。他の選択肢について、① **leave for** は「～へ向けて出発する」で、出発の行為に焦点があります。② **search for** は「～を探し求める」、③ **care for** は「～の世話をする、～を好む」という意味の句動詞です。

◆**補足**：**head** は名詞で「頭」ですが、動詞として使うと「～へ向かう、～を率いる」という意味になります。**go to ～** と似ていますが、**head for ～** は目的地へ「向かっている」という方向性やプロセスを強調するニュアンスがあります。また、**be headed for ～** の形で「～へ向かっている」と進行形で使われることも多いです。

32.

解答 ③

【解説】

英単語「**current**」は、形容詞として「現在の、今の」という意味で最もよく使われます。時間的に「今」起こっていることや通用していることを表し、名詞の前に置いて修飾します。例えば、「現在の状況」は **the current situation** と表現します。選択肢①「高価な」は **expensive**、②「正確な」は **correct** や **accurate**、④「異なった」は **different** がそれぞれ対応する単語です。

◆**補足**：**current** は名詞として使われると「(川や海の) 流れ、潮流」や「電流」といった全く異なる意味を持つ多義語です。語源はラテン語の **currere** (走る) で、これが「流れる」→「時間の流れ」→「現在の」という意味に派生しました。副詞形は **currently** で、「現在は、今のところ」という意味になります。類義語の **present** も「現在の」という意味を持ちますが、**current** が「刻々と変化する今」を強調するのに対し、**present** は過去や未来と対比した「今」というニュアンスで使われることが多いです。

33.

解答 ②

【解説】

英単語「**cell**」は、名詞として「細胞」という意味で使われるのが最も一般的です。生物を構成する基本単位を指します。例えば、「人間の体は多くの細胞からできている」のように使います。選択肢は発音が似ていますが、①「殻」は **shell**、③「呪文」は **spell**、④「鐘」は **bell** であり、全く意味の異なる単語です。

◆**補足**：**cell** は多義語であり、「細胞」以外にも「(刑務所の) 独房」「(電池の) セル、電池」「(テロ組織などの) 小グループ」など、文脈によって様々な意味を持ちます。語源はラテン語の **cella** (小さな部屋) で、これが「区切られた小空間」という共通のイメージにつながっています。携帯電話を意味する **cellphone** (**cellular phone**) の **cell** も、通信エリアが蜂の巣 (**honeycomb**) のように多数のセル(基地局がカバーする範囲)に分割されていることに由来します。

34.

解答 ③

【解説】

英単語「calcium」は、元素の一つである「カルシウム」を指す名詞です。骨や歯の主成分であり、人体にとって重要なミネラルです。例えば、「牛乳はカルシウムが豊富だ」は **Milk is rich in calcium.** と表現します。選択肢①「カリウム」は **potassium**、②「カロリー」は **calorie**、④「じゅうたん」は **carpet** であり、意味が異なります。

◆補足：calcium の語源は、ラテン語の **calx**（石灰）です。石灰の主成分がカルシウム化合物であることに由来します。栄養素としてのカルシウムは、**iron**（鉄分）、**magnesium**（マグネシウム）、**zinc**（亜鉛）など、他のミネラルと一緒に覚えておくと語彙が広がります。これらの栄養素名は、日本語のカタカナ表記と英語のスペル・発音が微妙に異なるものが多いので、正確に覚えることが大切です。

35.

解答 ③

【解説】

英単語「attempt」は、名詞として「試み、企て」という意味で使われます。特に、難しいことや成功するかどうか分からないことへの挑戦を指します。例えば、「世界記録への彼の試みは失敗した」のように使います。選択肢①「出席」は **attendance**、②「態度」は **attitude**、④「注目」は **attention** であり、意味が異なります。

◆補足：attempt は動詞としても使われ、「～を試みる、企てる」という意味になります。attempt to do の形で使われることが多いです。類義語の **try** よりもフォーマルで、より努力を要する挑戦であるというニュアンスがあります。コロケーションとして、“make an attempt”（試みる）、“a desperate attempt”（必死の試み）、“a failed attempt”（失敗した試み）などを覚えておくと便利です。

36.

解答 ②

【解説】

英単語「conventional」は、「従来の、伝統的な、型にはまった」という意味の形容詞です。昔から広く受け入れられてきた方法や考え方を指し、しばしば新しいものや独創的なものと対比して使われます。例えば、「従来の方法」は **a conventional method** と言います。選択肢①「便利な」は **convenient** で、スペルが似ているため混同しやすいので注意が必要です。③「国際的な」は **international**、④「感情的な」は **emotional** であり、意味が異なります。

◆補足：conventional は、名詞 **convention**（大会、慣習、協定）の形容詞形です。convention の「慣習」という意味から、「慣習的な」→「従来の」という意味につながると理解できます。対義語は

unconventional（型にはまらない、独創的な）です。”conventional wisdom”は「社会通念、一般に受け入れられている考え」という意味の重要な表現です。

37.

解答 ②

【解説】

英単語「genetic」は、「遺伝子の、遺伝学の」という意味の形容詞です。生物の成長や形質を決定する遺伝子に関連することを表します。例えば、「遺伝子疾患」は a genetic disease と表現します。選択肢①「寛大な」は generous、③「一般的な、ブランド名のない」は generic、④「本物の」は genuine が対応します。

◆補足：genetic は、名詞 gene（遺伝子）の形容詞形です。関連語として、genetics（遺伝学）、genetically modified (GM)（遺伝子組み換えの）などがあります。語源は「生み出す」を意味するギリシャ語の genos に由来し、generate（生み出す）などと共通しています。

38.

解答 ②

【解説】

「薬、医学」という意味に最も近い英単語は②の medicine です。病気の治療や予防に用いる物質や、医療に関する学問分野全体を指します。例えば、「薬を飲む」は take medicine と表現します。他の選択肢について、① machine は「機械」、③ magazine は「雑誌」、④ mixture は「混合物」を意味する名詞です。

◆補足：medicine は不可算名詞として「医学」を、可算・不可算名詞として「薬」を意味します。同じ「薬」でも、medication はより専門的な「治療薬」を、drug は市販薬や違法薬物も含む広い意味を持つなど、ニュアンスの違いがあります。”a taste of one’s own medicine”は「自分がした仕打ちの報いを受ける」という意味の面白い慣用句です。

39.

解答 ②

【解説】

英単語「repeatedly」は、「繰り返して、何度も」という意味の副詞です。ある行動が何度も行われることを強調します。例えば、「彼は繰り返して同じ質問をした」は He asked the same question repeatedly. と表現します。選択肢①「最近」は recently、③「急速に」は rapidly、④「相対的に」は relatively が対応する単語です。

◆補足：repeatedly は、動詞 repeat（繰り返す）から派生した副詞です。類義語に again and again がありますが、repeatedly の方がよりフォーマルな響きがあります。似た形の副詞に respectively（それぞれ、おのおの）がありますが、意味は全く異なるので混同しないようにしましょう。

40.

解答 ②

【解説】

「交替で～する」という意味に最も近い英語表現は②の take turns to do です。グループのメンバーが、順番に一人ずつ同じことをする状況を表します。例えば、「私たちは交替で車を運転した」は We took turns to drive the car. と表現します。他の選択肢について、① take place は「(催しなどが) 行われる」、③ take over は「～を引き継ぐ」、④ take part in は「～に参加する」という意味の熟語です。

◆補足：この表現は to do の代わりに doing を用いて take turns doing の形になることもあります。名詞の turn は「順番」を意味し、"It's your turn."（あなたの番です）のように単独でもよく使われます。

41.

解答 ③

【解説】

英語表現「on a daily basis」は、「日常的に、毎日」という意味です。daily や everyday と同じ意味ですが、よりフォーマルな響きがあり、ビジネスやニュース記事などで好んで使われます。例えば、「彼は日常的に運動している」は He exercises on a daily basis. と表現できます。選択肢①「将来的に」は in the future、②「基本的に」は basically、④「直接的に」は directly などが対応する表現です。

◆補足：この表現の basis は「基礎、基準」という意味の名詞です。"on a ~ basis" の形で「～を基準として、～のペースで」という意味になり、daily 以外にも様々な単語と結びつきます。例えば、on a weekly basis（毎週）、on a monthly basis（毎月）、on a regular basis（定期的に）、on a case-by-case basis（ケースバイケースで）など、応用の利く便利な表現です。

42.

解答 ①

【解説】

英単語「motion」は、名詞として「動き、運動」を意味します。人や物が位置を変える動作全般を指します。例えば、「振り子の動き」は the motion of a pendulum と表現します。また、議会などでの

「動議」という意味もあります。選択肢②「感情」は **emotion**、③「部分」は **portion**、④「選択肢」は **option** であり、意味が異なります。

◆**補足**：**motion** は、動詞 **move**（動く）や名詞 **movement**（動き、運動）と関連しています。語源はラテン語の **motio** で、**movere**（動かす）から来ています。コロケーションとしては、**"slow motion"**（スローモーション）、**"in motion"**（動いている状態で）などがよく使われます。

43.

解答 ①

【解説】

「～を固く締める」という意味に最も近い英単語は①の **tighten** です。ねじやベルトなどをきつくすることを指します。例えば、「シートベルトを締める」のように使います。また、比喩的に「（規制など）を強化する」という意味でも用いられます。他の選択肢について、② **lighten** は「～を軽くする、明るくする」、③ **brighten** は「～を明るくする、輝かせる」、④ **frighten** は「～を怖がらせる」という意味の動詞です。

◆**補足**：**tighten** は、形容詞 **tight**（きつい、固い）に、動詞を作る接尾辞 **-en** が付いた形です。このように、形容詞に **-en** を付けて動詞になる単語は多くあります（例: **short** → **shorten**、**wide** → **widen**）。対義語は **loosen**（～を緩める）で、こちらも **loose**（緩い）+ **-en** という成り立ちです。

44.

解答 ①

【解説】

英単語「**portable**」は、「持ち運び可能な、携帯用の」という意味の形容詞です。軽くて簡単に持ち運べる製品などについて説明する際によく使われます。例えば、「携帯音楽プレーヤー」は **a portable music player** と表現します。選択肢②「信頼できる」は **reliable**、③「快適な」は **comfortable**、④「有益な」は **profitable** や **beneficial** などが対応し、いずれも意味が異なります。

◆**補足**：**portable** は、語源を見ると意味を理解しやすい単語です。ラテン語の **portare**（運ぶ）と、接尾辞 **-able**（～できる）が組み合わさってできています。つまり「運ぶことができる」が元の意味です。**port** を含む単語は「運ぶ」や「港」に関連するものが多く、例えば **import**（輸入する）、**export**（輸出する）、**transport**（輸送する）、**airport**（空港）などがあります。これらの単語と関連付けて覚えると記憶に残りやすいでしょう。

45.

解答 ②

【解説】

英語表現「on duty」は、「勤務中で、当番で」という意味です。特に、警察官、消防士、医師、警備員などが職務に就いている状態を表します。例えば、「その警官は勤務中だった」は The police officer was on duty. と表現します。選択肢①「要求に応じて」は on demand、③「休暇中で」は on vacation、④「わざと」は on purpose です。

◆補足：on duty の対義語は off duty（非番で、勤務時間外で）です。duty は「義務、職務」という意味の名詞で、call of duty（職務上の責任感）のような表現でも使われます。

46.

解答 ①

【解説】

英単語「average」は、名詞として「平均、平均値」という意味で最もよく使われます。複数の数値を合計し、その個数で割った値を指します。例えば、「テストの平均点」は the average score on the test と表現します。選択肢②「年齢」は age、③「利点」は advantage、④「冒険」は adventure であり、スペルは似ていますが意味は全く異なります。

◆補足：average は形容詞として「平均的な、普通の」という意味や、動詞として「平均して～になる」という意味でも使われます。重要な表現に“on average”があり、「平均して、概して」という意味の副詞句として頻繁に使われます。例えば“On average, Japanese people live longer than people in other countries.”（平均して、日本人は他の国の人々より長生きである）のように使います。

47.

解答 ①

【解説】

「改善、進歩」という意味に最も近い英単語は①の improvement です。物事が以前よりも良い状態になることや、質が高まることを指す名詞です。例えば、「彼の英語力には大きな進歩が見られる」のように使います。他の選択肢は、スペルが似ていて混同しやすいですが、意味は全く異なります。② government は「政府、政治」、③ equipment は「設備、機材、備品」で不可算名詞である点に注意が必要です。④ agreement は「合意、同意、契約」を意味します。

◆補足：improvement は動詞 improve（改善する、進歩する）の名詞形です。接尾辞 -ment は動詞に付いて名詞を作ることが多いです（例: develop → development）。“make an improvement in/on ~”で「～を改善する」という表現がよく使われます。また、“room for improvement”という表現は「改善の余地」という意味の決まり文句で、ビジネスや学習の場面で頻繁に耳にします。例えば、“Your report is good, but there is still room for improvement.”（君のレポートは良いが、まだ改善の余地がある）のように使います。

48.

解答 ④

【解説】

「確信して」という意味に最も近い英単語は④の **certain** です。疑いの余地なく、ある事柄が事実であると信じている状態を表します。be certain of/about ~ や be certain that ... の形で使われます。例えば、「私は彼の成功を確信している」は I am certain of his success. と表現します。他の選択肢について、① **curious** は「好奇心の強い」、② **calm** は「穏やかな」、③ **cruel** は「残酷な」という意味の形容詞です。

◆**補足**：**certain** には、名詞の前に置かれて「(名前は知らないが) ある特定の」という意味もあります(例: a certain person ある人)。この意味も非常に重要です。名詞形は **certainty** (確実性)、副詞形は **certainly** (確かに、必ず) です。類義語の **sure** よりも **certain** の方が、客観的な根拠に基づいた、より強い確信を表す傾向があります。

49.

解答 ④

【解説】

「(慎重に) ~を選ぶ」という意味に最も近い英単語は④の **select** です。多くの選択肢の中から、注意深く最良のものを選び出すというニュアンスがあります。選択肢はスペルが似ていますが、① **collect** は「~を集める」、② **protect** は「~を守る」、③ **reflect** は「~を反映する、反射する」や「~をじっくり考える」という意味で、全く異なります。

◆**補足**：**select** の類義語に **choose** や **pick** があります。**pick** は最も口語的で、気軽な選択を表します。**choose** は一般的な「選ぶ」で、幅広い場面で使えます。**select** はこれらよりもフォーマルで、慎重な吟味や優れた品質を基準に選ぶニュアンスが強いです。名詞形は **selection** (選択、精選品) です。語源はラテン語の **se-** (分離して) + **legere** (選ぶ、集める) で、「選び分ける」というのが核となるイメージです。形容詞として「選び抜かれた、優良な」という意味で使われることもあります(例: a select few 「選ばれた少数」)。

50.

解答 ④

【解説】

「量」という意味に最も近い英単語は④の **quantity** です。数えたり測ったりできる物事の多さを指します。例えば、「少量の砂糖」は a small quantity of sugar と表現します。他の選択肢について、① **quality** は「質」を意味し、**quantity** の対義語として必ずセットで覚えるべき単語です。「量より質」は “Quality over quantity.” と言います。② **poverty** は「貧困」、③ **liberty** は「自由」を意味する名詞です。

◆**補足**：**quantity** はラテン語の **quantus** (どれほどの量の) に由来します。形容詞形は **quantitative** (量的な) で、**qualitative** (質的な) と対になります。a large quantity of ~ や a small quantity of

～（大量の／少量の～）といった表現は、フォーマルな文脈で a lot of の代わりに使われることがあります。
